》宏观

新しい時代には新しいORを



日本電気株式会社社長 小 林 宏 治

私がOR学会長を引き受けたころから の宿願であった, OR合同国際会議の東 京開催が無事に終わり、その成功が内外 から喜ばれていると聞き、前会長とし て、また、後援会の一員としてたいへん 嬉しく思っている. 特に38ヵ国, TIMS, IFORS合わせて800人以上のオペレーシ ョンズ・リサーチ関係者の参加をみたこ とは予想以上の成功であり、これは現会 長の森口繁一教授をはじめとする組織委 員各位の努力のあらわれであると思う. 私の会社へも世界各国から多数の OR ヮ ーカーが訪れ、オペレーションズ・リサ - チに関する熱心な討論が行なわれ, 私 自身,日本のOR活動もいよいよ国際的 になったことを痛感した.

周知のように、最近日本を含む世界の 経済状勢は、石油問題をその契機として 過去の高度成長時代から大きく変わりつ つあり、従来の延長線上からものごとを 判断することがきわめて困難になりつつ ある. わが国ばかりでなく、各国がエネ ルギー問題、経済不況・財政問題などな ど、きわめてむずかしい問題を抱えてい る. このような時代には、当然新しい環境に対する戦略的な考え方が必要になってくる。オペレーションズ・リサーチは、その歴史的な背景からも明らかなように、戦略または計画を、より科学的かつ現実的に考え出す接近法として生まれたものであり、これからの新しい時代における話問題を解決している。しかしながら、この新しい時代における話問題を解決している。しかしながら、この新しい時代における話問題を解決していたものには、当然従来のものとは異なった新しいオペレーションズ・リサーチの接近法が要求されてくる。

オペレーションズ・リサーチの初期の ころ、英国において、のちにノーベル物 理学賞を受けたブラケット卿(Partric Maynard Stuart Blackeet)は、レーダ ー網の効率的な利用法に関し、新たな接 近法を試み、防空問題の解決に大きな成 果をあげたことはオペレーションズ・リ サーチの歴史上有名な話である。

防空問題はその時代としてはまったく 新しい問題であり、航空機の発達してい なかった時代にはおこり得なかった問題 である。新しい時代には新しい問題が発生し、新しい接近法が必要になってくる。

最近の接近法としてシステム・ダイナ ミックス、デルファイ法、テクノロジー • アセスメント, コンピュータ・シミュ レーション法などが出てきているが、今 後、世界の OR ワーカーは新しい問題に 対して,新しい接近法を積極的に開発し ていかなければならない。既存のオペレ ーションズ・リサーチの接近法が適用で きる問題だけを解いているだけでは、オ ペレーションズ・リサーチの発展はあり 得ないと思う. そのさい重要なことは, 研究者と実務家との交流である. すなわ ち, 研究の成果が実際に企業へ, 行政へ 活用され、逆に企業や行政からの要請が 新しい重要な問題の研究を促進するよう な交流が必要である.

当然のことであるが、オペレーションズ・リサーチにおいて大切 x こ と は、FACT FINDING つまり事実を把握することである.

従来、オペレーションズ・リサーチが どうかすると現場から遊離するという批 判があるが、これは事実の把握の仕方に 問題があるように思われる。優秀なOR ワーカーは足で問題を解くということで ある。

机上や頭の中だけのオペレーションズ・リサーチは事実から離れた解を出すことが多く、そのため現場から遊離するのである、また、事実を把握するために

は、その仕事に対する不断の取り組みが必要であり、そうしてはじめて事実が把握できるといっても過言ではないように思う。多くの問題は新しい動的な環境のもとで発生するのであるから、まず、みずから事実を把握することを心掛けなければ、真の事実をタイムリーに発見、把握することはむずかしい。

最近、中国を訪れる機会をもったが、 中国の各地で聞いた言葉に"自力更生" という言葉があった。

この言葉の意味は、たとえば、農耕用の農器具が悪ければ、農民が自分で工作機械を動かしても作るということであり、実際に中年の女性が農器具を作っていた。必要なものは他人に頼らず、みずから作っていく。オペレーションズ・リサーチについても、このような自力更生的な心掛けが大切であると思う。問題解決用の道具が無ければ、それを積極的にみずから開発していくことが、これからのORワーカーの務めではなかろうか。

OR活動もいよいよ国際的な交流が活発になり、わが国の諸問題の多くは世界各国の問題でもあり、逆に、世界各国の諸問題はわが国の問題でもあるように、世界各国との関係がいっそう密になりつつある現在、日本のORワーカーと世界のORワーカーが協力して、よりよい将来の世界のためにオペレーションズ・リサーチを有効に活用していくことを期待したい・